

入門・基礎期〔～2012年8月〕

ココがTAC POINT 1 効率の良い 学習順序

TACの基本講義はどのクラスでも「憲法」から始まります。今後の学習を最も効率よく理解するために、法律のベースとなる憲法から学ぶのは当然のことと言えます。

ココがTAC POINT 2 早期のアウトプットで 確実に知識を定着

TACの基本講義では、毎回ミニテストを実施し、理解度および知識の定着度を図ります。インプット＋アウトプットのサイクルを入門基礎期のなるべく早い段階から行うことにより、知識の定着と弱点分野の早期発見・克服を狙います。

ココがTAC POINT 3 科目ごとの知識の 定着度をチェック

各科目の基本講義を終えたところで、科目別の答案練習を行います。科目別に行うことにより、科目ごとの知識の総点検ができると同時に、自分の苦手分野が分かり、弱点克服に威力を発揮します。

応用直前期〔2012年9月～〕

ココがTAC POINT 4 「わかっていたつもり」を 「確実な知識」へ

本試験形式の答案練習を行うので、今まで学んだ知識を正確に答案に反映できるかどうかだけではなく、「どのような問題が狙われるか?」「問題を解く時間配分をどうするか?」といった実践的スキルが身につきます。
総合答練・公開模試については、答案を提出された方に成績表をお渡しいたしますので、全国数多くの受験生の中で、自分のレベルを知る最良のパロメーターとなります。

5回分の本試験練習!



INPUT 基本講義

基本講義(法令)

独学では理解の難しい各法令の基礎知識を、初心者でもわかりやすく、具体例を交えながら講義を展開します。

■ 憲法	8回
■ 民法	16回
■ 行政法	15回
■ 商法・基礎法学	7回

基本講義(一般知識)

大変広範囲にわたる一般知識を、出題可能性の高い分野を中心に効率良く実践的な講義で展開していきます。

■ 文章理解	2回
■ 政治経済情報等	7回

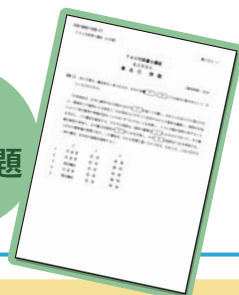


OUTPUT ミニテスト 毎 回

毎回講義の始めに前回講義範囲のミニテスト(約10分)を実施します。ミニテストは講義の復習・記憶の定着に効果を発揮します。講義を受け問題を解くことにより、知識が確実に身につきます。

※文章理解は講義内で問題を解くのでミニテストは実施しません。
※各科目最終回のミニテストは配付のみです。
※ビデオ(DVD)講座・通信講座のミニテストは、ミニテスト集となり、自習用教材(自己採点)となります(答案提出の必要はありません)。

40字
記述出題

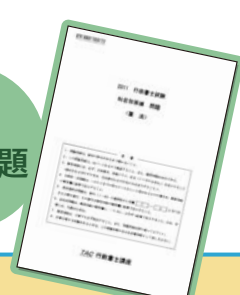


OUTPUT 科目別答練 科目ごと

基本講義で学習した内容を再チェックするために、科目ごとに問題演習および解説講義をおこないます。

■ 憲法	1回
■ 民法	2回
■ 行政法	2回
■ 商法・基礎法学	1回
■ 政治経済情報等	1回

40字
記述出題



OUTPUT 総合答練 本試験形式

ひととおりのインプットが終わったら、ここで本試験形式の答練をおこないます。自分が覚えた知識が本試験レベルの問題でどれほど通用するのか、第1のチェックポイントとなります。

■ 答練	2回
■ 解説	2回

40字
記述出題



OUTPUT 公開模試 本試験形式

全国規模で行われる公開模試は、本試験さながらの雰囲気と問題で、これまでの学習の成果を試すことができます。また、実質の合格予備軍の受験生が集まるこの試験で、自分の位置付けを知ることができます。

■ 答練	1回
------	----

ココがTAC POINT 5

本科生特典

本科生でお申込みの方は、2012年10月実施予定の公開模試が受験料無料に!

40字
記述出題



OUTPUT 直前答練 本試験形式

本試験に向けての最後の答案練習になります。最後の総まとめの試験なので、本試験直前に自分の実力がどの程度伸びているかの最終確認ができます。

■ 答練	2回
■ 解説	2回

※返却期間がないため、自己採点となります。

40字
記述出題



ココがTAC POINT 6

「記述対策徹底主義」

本試験で40字記述問題が出題される科目については、入門基礎期のミニテストより記述対策を行います。さらに実力完成期・応用直前期で実施する問題演習の機会でも随時取り入れているため、記述対策が自然に身につくと同時に特別な対策を心配する必要もありません。